

日本映画衛星放送株式会社 第43番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成27年1月20日(火) 16時～17時
2. 開催場所 : 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル15階
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 8名 / 出席委員数 8名
出席委員(順不同、敬称略): 菊地 実・鈴木 嘉一・川本 三郎・坂井 保之・
曾根 和子・田保橋 淳・鳥居 美砂・西 正
放送事業者側出席者: 代表取締役社長 杉田 成道
編成制作局長 宮川 朋之
編成制作部長 澤 尚志
編成制作部 槌谷 昭人
番審担当 堤 靖芳
清水 明(記)
4. 議題(1) 審議事項: 日本映画専門チャンネル・オリジナル番組「ある日本映画史 ～長門裕之と津川雅彦の場合～」について
(2) 報告事項: 時代劇専門チャンネル ①「三匹の侍」について
②オリジナル番組「時代劇歌祭り! ザ★ゴールド」について
5. 議題(1) 審議概要
“日本映画の父”と呼ばれる牧野省三を祖父に持つ俳優、長門裕之と津川雅彦。その二人のフィルモグラフィーを照らし合わせてみると、昭和の日本映画史が鮮やかに浮かび上がる。戦後70年という節目の年に、日本映画専門チャンネルと時代劇専門チャンネルでは、この稀有な活動屋兄弟の歴史を、津川雅彦本人へのロングインタビュー番組と、二人の出演映画10作品で振り返る。
【審議 POINT】
■チャンネルのコアターゲットである映画ファンに対して、魅力的な内容であったか。
■通年企画「日本映画専門チャンネル・時代劇専門チャンネル 戦後70年共同企画」の1つとして、両チャンネルで放送するのに相応しい内容であったか。

6. 議題（1）審議内容

- ・兄弟の親族がこんなに映画界へ人材を輩出しているとは知らなかった。人物関係が分かりやすく紹介され、内容的にも面白い。日本映画史を考える際に、一つの視座を得ることができた。映画ファンは喜ぶだろうし、放送する映画の宣伝として効果的だ。
- ・こうした貴重な話を記録しておく重要性を感じた。両チャンネルのファンが相乗りする相乗効果も大きい。若者への訴求にはならないが、既存顧客の解約防止にはなる。ただ、幅広いバラエティの中の1つという意識は持っていてほしい。
- ・見ている間は面白く飽きなかった。特にマキノ雅弘監督の商業映画哲学に感心した。しかし、見終わってみるとテーマが分からないし、心に残るメッセージがない。
- ・アートの美術館はあるが、映画の美術館が日本にはない。韓国など美術館も多いし、映像美術館も複数あり、映画美術館もあるのに。私は映画美術館が日本にもあってほしい。この番組は、日本に映画美術館ができれば是非収蔵すべきだ。
- ・視聴者は紹介された映画を見たくなるのだろう。ただ、この番組は、シニア層と映画に詳しい人にしか分からない。こうしたマニアックな番組と映画ばかりでは、一般視聴者はついていけない。また、紹介された映画の放送作品数が、両チャンネルでアンバランスなものになった。
- ・番組としては面白い。取り上げられていた作品をつい見なおした。是非こうした番組づくりを続けてほしい。小林桂樹や三橋達也などテーマとしてどうだろうか？
- ・今まで聞いたことがない秘話が多く、とても興味深かった。マキノ雅弘監督の話にも感銘を受けた。マニアックという意見については、作品ラインナップは著名なヒット作が多く、問題ないと思うし、見たことのない人たちに名作を教えてあげる良い機会だ。
- ・長門裕之が遺した 8mm フィルムは、メイキング映像のない時代の貴重な映像資料だと思う。番組で紹介された映画もとても見たくなった。この番組がシニア向けという指摘はその通りだが、例えば 40 代向けの同様の別番組もつくれば良いだけのこと。

<事業者回答>

- ・確かにマニアックな番組で頻繁にはできないが、映画専門チャンネルとしては、時としてこうした番組もアリだと思っている。ただ、こうした番組ばかりになると、最早放送である必要がなくなってしまうかもしれない。放送としてはより多くの方々に見てもらえる番組づくりをしていくことが基本だと意識はしている。
- ・確かに取り上げた作品はテレビが普及する前の映画が多く、作品名を聞いて反応する方はかなりお年をめされた方が多いだろう。今後もっと若い世代や女性に向けた番組もつくっていかねばいけないと思っている。

7. 議題（2）報告事項

① 時代劇専門チャンネル「三匹の侍」について

1960年代、日本中に旋風を巻き起こした名作テレビ時代劇、「三匹の侍」。1963年から1969年の間に全6シリーズが放送されたが、失われた素材が多く、これまでほとんど再放送されることも、ソフト化されることもなかったため、伝説の時代劇ドラマとされてきた。しかし、時代劇専門チャンネルでは、この4月から第4シリーズを放送開始。続けて約50年間誰も見ることの出来なかった第5・第6シリーズをオンエアし（BS・CS初）、現存する3シリーズ全てを放送予定である。

② 時代劇専門チャンネル「時代劇歌祭り！ザ★ゴールド」について

時代劇専門チャンネルが、オリジナル歌番組を初制作。テレビ時代劇の歴史に燦然と輝く名曲の数々を、時代劇スターや演歌・歌謡曲の人気歌手が一堂に会して公開収録した。放送は、2015年1月1日（木・元日）より8:00から行った（リピート放送あり）。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、2015年3月17日開催。